活動発表

緊急消防援助隊
岡山市指揮支援隊

令和８年１０月２５日

岡山市消防局警防部警防課
指揮担当課長　吉田謙介

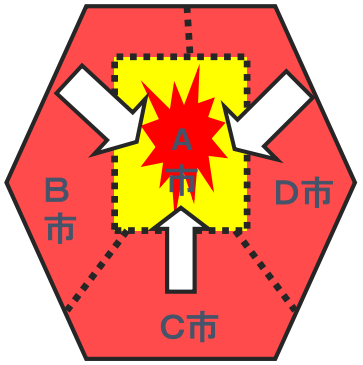
緊急消防援助隊の概要①

R8.10.25
岡山市消防局作成

緊急消防援助隊とは

通常の火災・事故・災害の場合

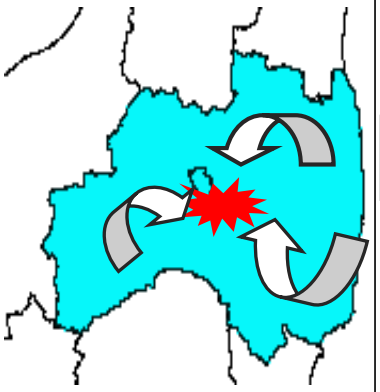
○市町村消防責任の原則
（消防組織法第6条）
○隣接市町村による相互応援
（消防組織法第39条）



大規模な火災・事故・災害の場合

○都道府県の対応

○都道府県内の相互応援協定による応援
（消防組織法第39条）
○都道府県知事による市町村長、消防長に対する災害防御措置に関する指示
（消防組織法第43条）



より大規模な火災・事故・災害の場合

○国の対応＝緊急消防援助隊

○消防庁長官の出動指示、求めによる
緊急消防援助隊の全国規模の応援
（消防組織法第44条）

被災県知事からの応援要請
↓
消防庁長官の求め又は指示
↓
緊急消防援助隊の出動



緊急消防援助隊の概要②

R8.10.25
岡山市消防局作成

目　的

■地震等の大規模・特殊災害発生時における人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施する消防の援助体制を国として確保。

創設の経緯等

■阪神・淡路大震災での教訓を踏まえ、平成7年に創設。
■平成16年4月消防組織法の改正により法制化。
■平成20年5月消防組織法の改正により機動力を強化。

概　要

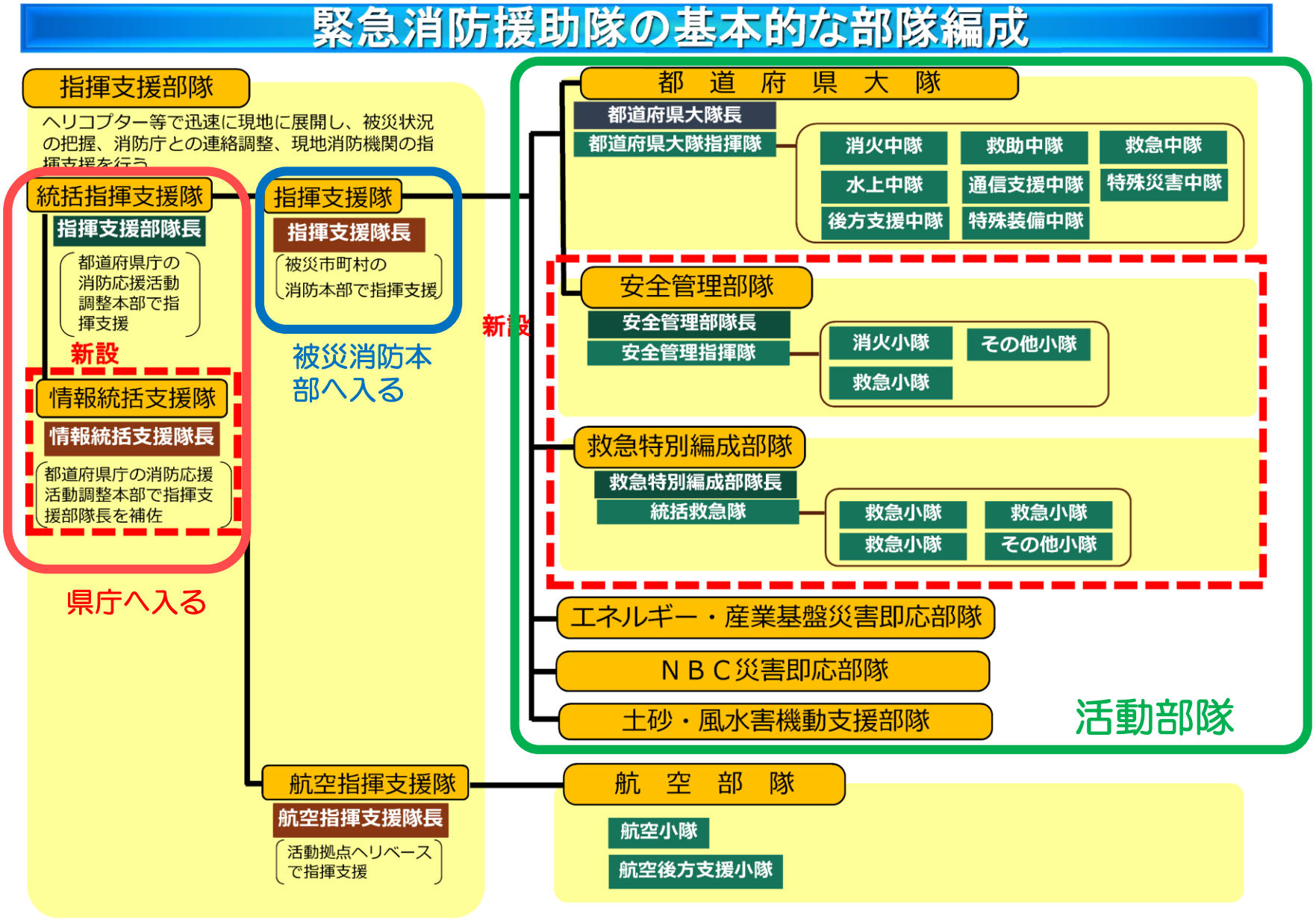
■総務大臣が、編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画を策定。計画に基づいて消防庁長官が部隊を登録。
■大規模・特殊災害発生時には、消防庁長官の指示又は求めにより部隊が出動。
■令和8年4月1日現在、下記の20小隊等で編成され、6，971隊（隊員数：26,368人）が登録。→H7 2,200隊

【登録隊数の概要】（注：重複を含むため合計は一致しない。）

指揮支援隊	５９隊	安全管理部隊指揮隊	５０隊	通信支援小隊	４５隊
航空指揮支援隊	５４隊	救急特別編成部隊統括救急隊	６４隊	水上小隊	２１隊
情報統括支援隊	９隊	都道府県大隊指揮隊	１６４隊	特殊災害小隊	３７２隊
統合機動部隊指揮隊	８４隊	消火小隊	２，４３７隊	特殊装備小隊	５１６隊
ｺﾝﾋﾞﾅｰﾄ産業基盤災害即応部隊指揮隊	１２隊	救助小隊	７２５隊	航空小隊	７７隊
NBC災害即応部隊指揮隊	５６隊	救急小隊	１，５９４隊	航空後方支援小隊	５９隊
土砂・風水害機動支援部隊指揮隊	５１隊	後方支援小隊	９３８隊		

緊急消防援助隊の部隊編成

R8.10.25
岡山市消防局作成



令和8年熊本地震での活動場所・指揮系統

R8.10.25
岡山市消防局作成

熊本県災害対策本部

各活動機関リエゾン
（警察・自衛隊・DMAT・海保等）

航空運用調整班
消防応援活動調整本部

統括指揮支援隊（福岡市）

指揮支援隊（北九州市）

上益城消防組合消防本部（御船町・嘉島町・甲佐町）

県大隊・活動部隊　福岡県・佐賀県

指揮支援隊（岡山市）

八代広域行政事務組合消防本部（八代市・氷川町）

県大隊・活動部隊

大分・宮崎・鹿児島・山口・岡山

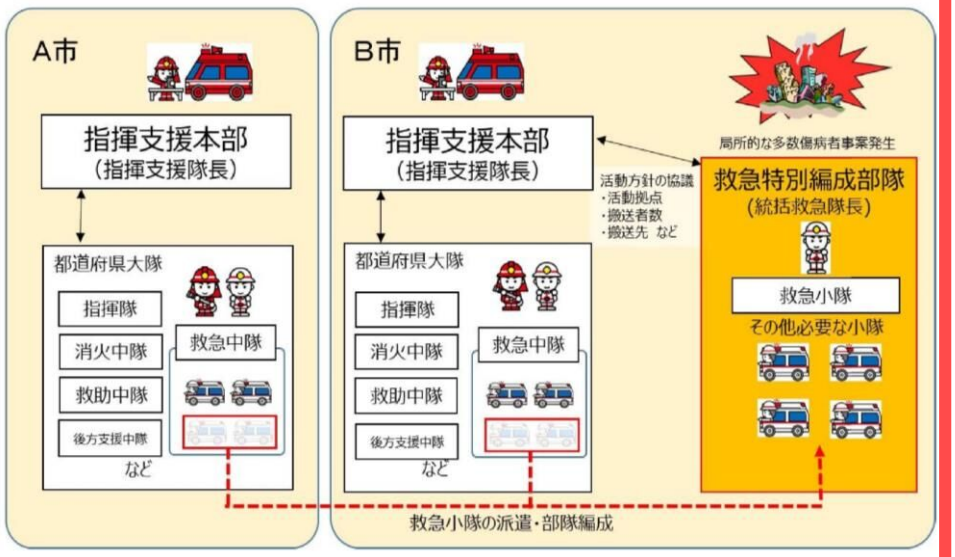
指揮支援隊（広島市）

宇城広域消防本部（宇城市・宇土市・美里町）
→のちに八代市へ部隊移動

県大隊・活動部隊　広島県・**救急特別編成部隊**

熊本労災病院の転院搬送対応

救急特別編成部隊とは



各県大隊から、救急隊のみを選出し、救急事案のみに対応する部隊を臨時編成する。

岡山市指揮支援隊　活動状況

R8.10.25
岡山市消防局作成

覚知から出動まで

１６：２７	発災　（宇城市・氷川町　震度７）
	指揮支援隊迅速出動の該当を確認
１６：３８	消防庁に電話確認　←　出動準備の指示
１７：１５	消防ヘリによる進出不能判断
１８：１９	出動要請（消防庁に電話確認）
１９：０５	陸路にて出動（指揮支援隊６名）
０：３８	九州に入る
３：０８	益城熊本空港IC通過→国道3号
	徐々に倒壊建物、道路亀裂が増加し、小迂回しながら進出
４：２７	八代広域消防本部みなと消防署到着
５：００	活動開始

氷川町周辺の道路状況



撮影場所：道の駅竜北

活動内容

7/29
- 氷川町　倒壊建物
- 日本製紙八代工場　煙突倒壊
- 鏡署、みなと署　未対応事案
- 救急特別編成部隊編成
  （熊本労災病院からの転院搬送）

7/30
- 日本製紙八代工場　煙突倒壊
  （７２時間継続の指示）←17:26完了
- 氷川町　倒壊建物検索
  （救助犬：日本レスキュー協会、航空自衛隊）

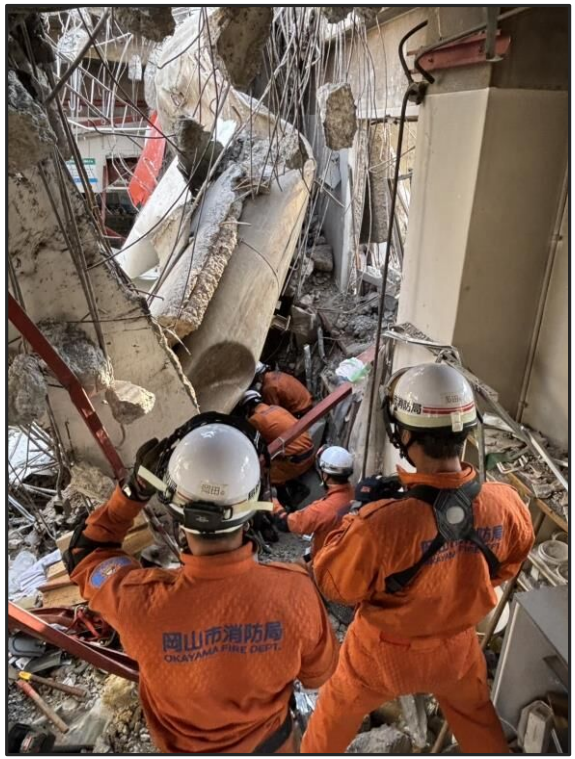
7/31
- 嘉島町　イオンモール熊本（救助小隊部隊移動）

8/1
- 救急特別編成部隊の調整
- 帰隊指示　→　熊本県消防学校へ移動

8/2
- 7:05出発　→　16:13 岡山到着

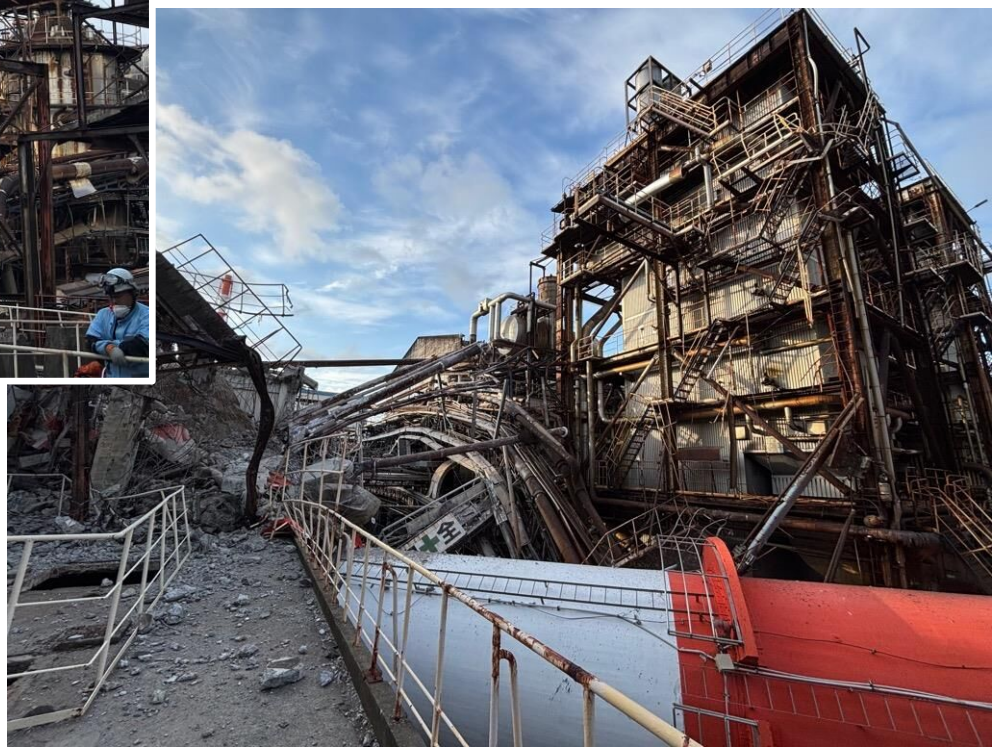


指揮支援隊活動状況



日本製紙八代工場の状況①



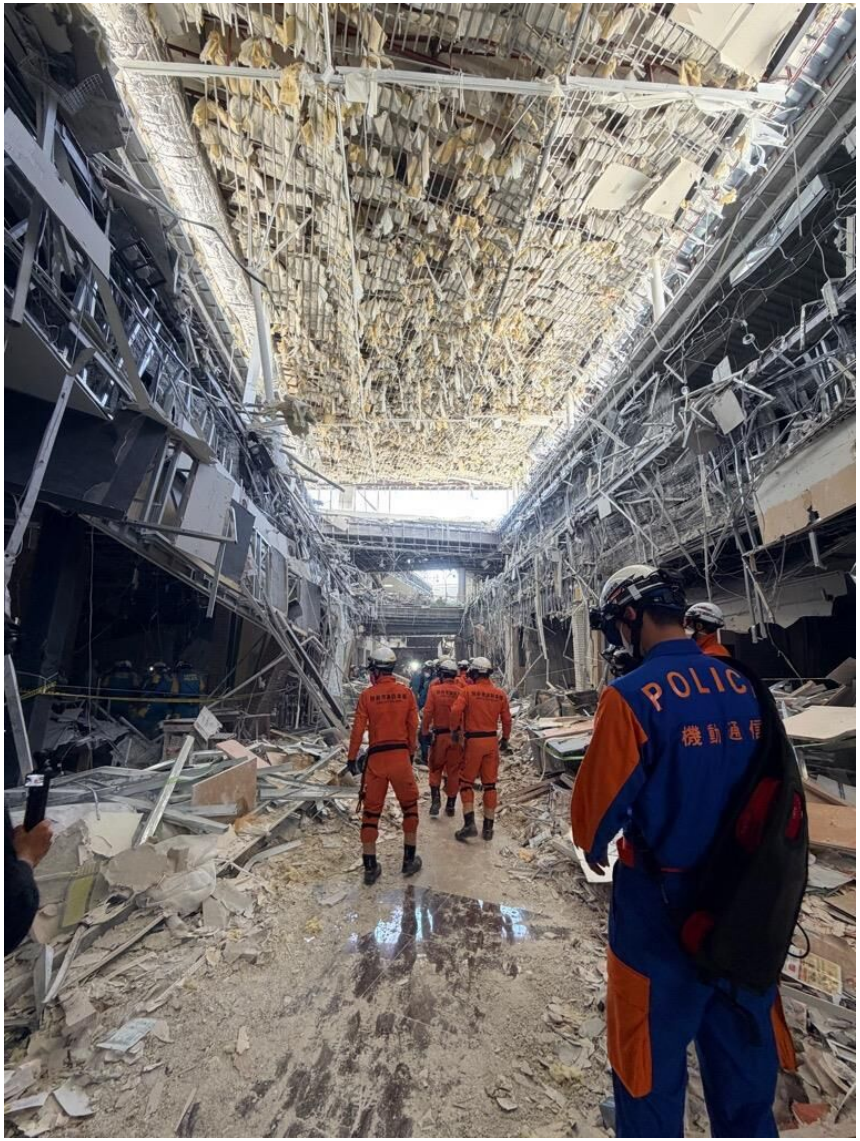


日本製紙八代工場の状況②



イオンモール熊本の状況①





奏功・反省点等

- 救急特別編成部隊を編成することを、統括指揮支援隊に迅速に進言できた。
- 県大隊を離れて活動した隊（救急特別編成部隊、嘉島町へ出動の救助小隊）や、長時間での現場活動を実施する隊に対する後方支援の不足。（食事、飲料水等）
- 八代市役所及び氷川町役場と進出場所が離れていたため、警察、自衛隊、DMAT等の定時の調整会議が実施できなかった。
- 各県隊と定時の調整会議ができなかった。
  （72h活動継続、宿営地が遠隔）
- 通信状態（LTE）が悪かったが、スターリンクや衛星電話等が活用できなかった。